

災害時応急危険度判定活動連携協定締結

9月13日町役場において、一般社団法人北海道建築士会知支部（岩淵賢二支部長）と妹背牛町との間で、被災地へ応急支援活動を迅速・的確に行えるよう「災害時応急危険度判定活動連携協定締結式」が行われました。

一般社団法人北海道建築士会は、平成23年の東日本大震災において、当時、行政職員の派遣のみに留まっていた現状を踏まえ、より一層充実した支援活動体制の確立のため応急危険度判定士の派遣拡大を目的として、



官民一体となった防災対策を誓い協定書を手にする寺崎町長(左)と岩淵支部長(右)

平成25年に「被災地応急支援特別委員会」を設置、平成28年には名称を「被災地応急支援委員会」と改名し、常設の委員会として新たにスタートしました。同会北空知支部は、1市6町（深川市・幌加内町・雨竜町・秩父

別町・沼田町・北竜町・妹背牛町）に、応急支援活動が迅速・的確に行えるよう本協定の締結を提案していたところ。今回の協定により、従来は北海道建築士会を通じての応援要請だったものが、今後は直接北空知支部に要請することができるようになり、迅速な対応が期待されるようになります。

寺崎町長は、「万が一、大規模震災が発生した場合、避難所も被害を受ける可能性があり、避難所の安全確認について、建築士会のご協力により、応急危険度判定を行っていただけのこと、大変心強い。町民の安全安心につながり、深く感謝を申し上げます」と挨拶しました。

また、岩淵賢二支部長からは「この協定書が役立つ時が来ないことを願いたい」と震災に見舞われず平穏な暮らしが続くようにとの思いを述べられました。

久保星来さん、最高賞受賞



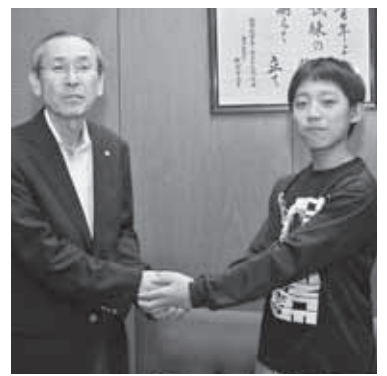
受賞を喜ぶ久保さん

受賞作品

第48回全国書道コンクールにおいて、妹背牛中学校1年生の久保星来さんが「最高賞」を受賞しました。中学1年生の出展は673展あり、その頂点に輝きました。久保さんは小学1年生から書道を始められ、部活動や勉強で忙しくても、決して書道の練習を休むことはなく、納得がいくまで書き続ける努力家です。今回初めて大きな賞を受賞し、「一緒に書道をしてきた良きライバル、いつも笑顔で指導して下さいました先生に感謝したい」と笑顔で話されました。

岡部陽空さん(ミニバス)「U-12 ナショナル育成キャンプ」に参加

9月14日、妹背牛小学校6年生の岡部陽空君が、日本バスケットボール協会が主催の「U-12 ナショナル育成キャンプ」への参加報告のため寺崎町長のもとを訪れました。このキャンプは、世界に通用する選手育成のため同協会が毎年実施しているもの。参加の案内が届いたときはとてもうれしかったそうです。全国から男女各40名、道内からは5名が参加。「キャンプでは、自分のプレーを十分に発揮したい」と意気込みます。寺崎町長も「全国から素晴らしい選手が集まると思う、楽しみながらいろいろなことを吸収して今後の活動につなげてほしい」と激励しました。キャンプは9月24、25日の2日間、東京都「味の素ナショナルトレーニングセンター」で開催されます。



キャンプの参加を楽しみにしている岡部君